

## 事務・事業評価シートについて

### 1 趣旨

政策や施策の効果を最大限発揮できるよう、市が行っている事務・事業の結果や成果を、客観的な指標等を活用して評価する。その結果をもとに、業務の進め方の改革・改善を図り、より効率的・効果的な行政運営と職員の意識改革を図る。

### 2 導入の目的

「第2次江田島市総合計画」で掲げる将来像である『恵み多き島』えたじまの着実な推進を図るため、PDCAサイクル（Plan=企画立案，Do=事業実施，Check=評価，Action=改善）を通じて、事業の効率的，効果的なマネジメントを行うことにより，市民満足度の向上を図ることを目的とする。

### 3 評価シートの内容

PDCAサイクルによる事務・事業の検証

- (1) P（Plan=企画立案）では，その事務・事業の「対象」を，どういった「手段」により，どのような状態にするか，「意図」を明らかにする。
- (2) D（Do=事業実施）では，実施に係る事業費や，成果指標（目標）を明らかにする。その結果として，市民満足度がどのように変化していくかトレースしていく。
- (3) C（Check=評価）では，これまで行ってきた内容について，「妥当性」「有効性」及び「効率性」について評価する。また，「総合評価」を行い，今後の事務・事業の方向性を判断する。
- (4) A（Action=改善）では，評価によって出てきた課題を明らかにする。その課題に対する改善策を策定し，次年度に活かしていく。
- (5) 5年を1サイクルとし，事務・事業の実施状況を通じて成果指標の達成や，市民満足度の変動が確認できるような内容としている。

### 4 評価項目

「第2次江田島市総合計画実施計画」にある事業について，評価を行う。この計画には，総合計画の施策ごとに，具体的にどのような事業を展開していくかが示されており，これらの事業を評価し，課題の整理や改善策を講じていくことにより，事業の精度が増し，結果的に市民満足度の向上が図れることになる。

### 5 その他

評価の内容や方法については，随時見直しを行う。また，調査項目が，各種実施計画等と重複しないよう整理し，一括で管理できるよう無駄のないものとして活用する。